

Title	既刊論文・資料総目次 『近代日本研究』 第11巻 (1994年) ~ 第20巻 (2003年)
Sub Title	
Author	
Publisher	慶應義塾福澤研究センター
Publication year	2004
Jtitle	近代日本研究 No.21 (2004.) ,p.(1)- (5)
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN10005325-20040000-0320

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the Keio Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

既刊論文・資料総目次

『近代日本研究』第11巻（1994年）～第20巻（2003年）

著者名五十音順，末尾〈共〉は共著論文，また数字は掲載巻数を表す

あ 行

浅田 光輝	<座談会>戦中・戦後の『三田新聞』を語る……………13
安西 敏三	福沢諭吉における国体観念の転回……………15
安藤 丞爾	<座談会>戦中・戦後の『三田新聞』を語る……………13
飯田 鼎	福沢諭吉と兆民・辰猪 ——明治思想史研究序説——……………14
池田 幸弘	ギャレット・ドロップバースの経済学 ——ギャレット・ドロップバースとドイツ歴史学派——……………14
石黒 清朗	<座談会>戦中・戦後の『三田新聞』を語る……………13
井田 進也	二〇〇一年の福沢諭吉 ——清仏戦争期『時事新報』論説の再検討——……………17
岩谷 十郎	ジョン・ヘンリー・ウィグモアの残した二つの契約書 ——「日本関連文書」の構造とその研究——……………13
區 建英	厳復の政治学における国家理論……………17
區 建英	厳復の老荘注釈における意味……………18
區 建英	厳復の『天演論』における進化論の受容……………19
小川 道明	<座談会>戦中・戦後の『三田新聞』を語る……………13
小野 修三	<資料>東京外国語学校の学生有志の演説・討論団体の記録 ——『有終記』のなかの明治十三年から十五年——……………14
オリヴ・ チェックランド	アレキサンダー・アラン・シャンド再考〈共〉……………13

か 行

菅野 聡美	大正思想界の関心事 ——自我，文化，及び恋愛を中心として——……………11
北原 守夫	<座談会>戦中・戦後の『三田新聞』を語る……………13
金原 左門	<『福沢諭吉書簡集』完成記念講演録>「近代」づくりを

地域の水脈に求めて

	——いくつかの福沢書簡を手がかりに——……………20
古田島 洋 介	明治初期の漢文訓読と『文明論之概略』……………16
小 林 幸 雄	<座談会>戦中・戦後の『三田新聞』を語る……………13
小 林 力 雄	<座談会>戦中・戦後の『三田新聞』を語る……………13
小 室 正 紀	ハワイ大学福沢講座と野村兼太郎講演 ——付・野村兼太郎「福沢諭吉と日本の近代化」 (小室正紀 訳) ——……………12
小 山 騰	明治前期国際結婚の研究 ——国籍事項を中心に——……………11
近 藤 岳 雄	<座談会>戦中・戦後の『三田新聞』を語る……………13

さ 行

坂 井 達 朗	<資料>朝鮮問題に関する二通の福沢書簡について ——新史料の紹介——……………12
坂 井 達 朗	「巻封じ」と「巻封」と ——福沢書簡を事例として——……………17
坂 井 達 朗	<史料紹介>「箕浦勝人 懐旧談草稿」……………18
坂 本 慎 一	福沢諭吉と亀井学の思想 ——福沢における「縦に慣れたる資力」とは何か——…20
佐 志 伝	<資料>福沢家の家計と交詢社会計の新資料……………12
佐 藤 林 平	<資料>ウェイランドの辞書類について……………14
佐 藤 林 平	<書評(紹介)>寺田芳徳『日本英学発達史の基礎研究』…16
佐 藤 能 丸	<『福沢諭吉書簡集』完成記念講演録>海から陸への飛躍 ——岩崎・大隈・福沢——……………20
白 井 厚	<座談会>戦中・戦後の『三田新聞』を語る(司会)……………13
白 井 堯 子	英国国教会宣教師の見た慶應義塾と福沢諭吉 ——アーサー・ロイドのSPG宛書簡を中心に——……………11
白 水 英一郎	<座談会>戦中・戦後の『三田新聞』を語る……………13
曾 野 洋	明治期和歌山における慶應義塾流変則中学校の成立と展開 ——新資料『会誌 徳義中学校同窓会』中の「本校ノ 沿革」に関する考察——……………15

た 行

高木不二	幕末文久期の中央政局と越前藩……………	14
高木不二	慶応期の越前藩政と中央政局……………	16
高橋徳行	<座談会>戦中・戦後の『三田新聞』を語る……………	13
玉置紀夫	アレキサンダー・アラン・シャンド再考〈共〉……………	13
田村貞雄	萩の乱に関する史料的研究……………	18
寺尾誠	<座談会>戦中・戦後の『三田新聞』を語る……………	13
都倉武之	明治十三年・三河国明大寺村天主教徒自葬事件……………	18

な 行

中野宏記	<座談会>戦中・戦後の『三田新聞』を語る……………	13
中森東洋	<資料>『慶應義塾社中之約束』最初の版本……………	12
七島柏	<座談会>戦中・戦後の『三田新聞』を語る……………	13
西川俊作	塚本定次〈共〉 ——転換期の近江商人——……………	12
西川俊作	<座談会>戦中・戦後の『三田新聞』を語る……………	13
西川俊作	明治十年後における慶應義塾の財政難 ——その数量的分析——……………	16
西沢直子	奥平家の資産運用と福沢諭吉 ——新資料・鳥津復生宛福沢諭吉書翰を中心として——	11
西沢直子	<資料>新資料 榎村正直宛書翰について……………	12
西沢直子	<資料>「民間雑誌」編集長中上川彦次郎の書翰について…	12
西沢直子	天保義社に関わる新収福沢書翰（鈴木閑雲宛）……………	13
西沢直子	<資料>小幡甚三郎のアメリカ留学 ——福沢研究センター所蔵資料紹介——……………	14
西沢直子	中津市学校に関する考察……………	16
西沢直子	小幡篤次郎考 I ——書簡にみられる中津士族社会との関わり——……………	17
西沢直子	小幡篤次郎考 II ——慶應義塾教職員として——……………	18
西沢直子	<史料紹介>小幡篤次郎考 III ——「女工場の開業を祝するの文」をめぐる——……………	19
西沢直子	書簡にみる福沢諭吉の男女論と男女観……………	20

は 行

早 鳥 瑛	商人とカオフマン ——日独商科大学比較社会史考——……………13
坂 野 潤 治	<『福沢諭吉書簡集』完成記念講演録>「官民調和」と「保革伯仲」 ——福沢諭吉の二大政党論をめぐって——……………20
藤 田 眞 一	<座談会>戦中・戦後の『三田新聞』を語る……………13
朴 己 煥	旧韓末と併合初期における韓国人の日本留学……………14
堀 孝 彦	幕末外交における通詞の役割 ——堀達之助・通詞と英学——……………16

ま 行

増 井 健 一	ひとりの経済学者の思想と行動 ——第二次世界大戦と武村忠雄——……………12
増 井 健 一	昭和一二～一五年の三田経済学部の先生たち……………15
松 崎 欣 一	三田政談会・政談社演説会について ——明治十年代前半における慶應義塾系演説会の研究—— ……………12
松 崎 欣 一	福沢書簡に見るある地方名望家の軌跡 ——伊東要蔵と福沢諭吉——……………18
松 崎 欣 一	福沢諭吉の演説 ——英吉利法律学校開校式祝辞・三田演説会最後の演説—— ……………20
松 田 隆 行	福井準造の思想的原点 ——日清戦後の「知識人」とナショナリズム・社会主義・ 農業——……………14
三 島 憲 之	<資料>国家経済会・日本経済会に関する基礎的考察 ——『国家経済会報告』総目次などの資料紹介を中心とし て——……………15
宮 尾 誠 孝	<座談会>戦中・戦後の『三田新聞』を語る……………13
村 石 正 行	地方福沢門下の社会教育実践 ——神津国助の模索と挫折——……………19

や 行

山 口 晃	<研究ノート>モロッコの石川三四郎とその後 ——地理的環境論への道——……………17
山 根 秋 乃	塚本定次く共) ——転換期の近江商人——……………12
吉 家 定 夫	豊岡藩と慶應義塾……………17
吉 岡 拓	福沢諭吉と天皇制 ——明治十五年、『帝室論』執筆への軌跡—— ……20

わ 行

渡 辺 俊 一	明治十四年政変と『保古飛呂比』……………16
渡 辺 俊 一	福沢諭吉と「対外硬」運動……………19

Ballhatchet, Helen	Baba Tatsui and Victorian Britain ——A Case-Study of an Early Meiji Intellectual——……………11
Craig, Albert	Warupuranku on the Death of a Schoolmaster……………13
Craig, Albert	Fukuzawa Yukichi and Shinmon Berihente ……19
Snell, William	Bertrand Russell at Keio University, July 1921 ……14
Smethurst, Richard J.	Takahashi Korekiyo's Fiscal Policy and the Rise of Militarism in Japan during the Great Depression ……18